

令和2年12月24日

久世中学校生徒、保護者様

仲間を守り、支える久世中に！！ ～今こそ久世中の真価が問われる～

今回、本校の生徒に新型コロナウイルスの感染が確認されました。真庭市や近隣の地区においてもクラスターの発生等、感染が拡大する中で、誰がいつ感染してもおかしくない状況です。感染した人を責めることはできません。今までも真庭市に感染者が確認されましたが、生徒の皆さんの言動は、冷静で、気遣いができ、感染者の特定や誹謗中傷、噂の拡散といった行為を見たり、聞いたりすることはありませんでした。みなさんの人権意識の高さを感じ、誇らしく思っていました。

しかしながら、今回、ライン等で感染者の特定をし、噂や中傷のメールを流している人がいることがわかり、大変残念に思っています。不確かな情報を流したり、SNSで発信・拡散することは人権を侵害することにつながります。発信した人は特定され、名誉毀損で罰せられる場合もあります。「この言葉、大丈夫？」「人を傷つけない？」常に自分に問いながら、情報を発信する行為に責任を持ちましょう。書き込んだ言葉はずっと残り続けます。傷ついた相手の心に、そして自分の汚点としても・・・

誰もが自分一人、あるいは家族だけでは生きていくことはできません。差別やいじめを決して他人事ではなく、自分事として捉えてください。「あなたは今、この社会で、この地域で、この学校で新型コロナウイルスに感染してしまったとき、素直に『感染しました』と言えますか??」この問題をきっかけに、それぞれが社会とどう向き合い、どう生きていくかを考えてほしいと思います。また、私たち大人は、『差別やいじめは絶対にいけない』ということとその生き様を通して、子どもたちに伝えていかなければなりません。

私たちの住む真庭市は、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組む街として、17の目標を達成し、「誰も置き去りにしない」社会をつくることをゴールに掲げています。新型コロナウイルスを通して私たちは、今、本当に向き合うべき問題に直面しているのかもしれませんが。まずは、私たちの久世中学校が、誰かが苦しんでいるときにしっかりと守り、支えられる温かい学校でありたいと思います。

真庭市立久世中学校
校長 児島 みどり